

慈心めぐみ

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒800-0035 北九州市門司区別院6番1号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒800-0057 北九州市門司区大里新町1番7号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



いっしょ

一人でできることは多くないが
皆一緒にやれば多くのことを成し遂げられる

ヘレン・ケラー

新型コロナウイルス感染症の影響により、一年遅れでの東京オリンピック・パラリンピック開催となりました。テレビで中継されるさまざまな競技を見てみると、出場している選手の多くが、異口同音に支えてくれた人々への感謝のコメントを述べています。世界の舞台で活躍するトップアスリートです。そこに至るまでの道のりは想像もつきませんが、自らの努力よりもむしろ、周囲へ向けられた思いを語っている姿が印象に残ります。自分一人では決してこの場にはいらなかったということとを誰よりも知っているからこそ、自然と周りへの感謝の気持ちが生じるのでしょうか。

行為の主体は私自身です。それ故、私が行動を起こさなければ、何も始まりません。その意味では、私に関わるすべてのことは、私の意志によって動いていくと言つていいでしょう。しかし、私一人の力だけでは、何も成し遂げられないというのも事実です。私にしか自分の人生を築いていくことはできませんが、皆と一緒に歩む人生でなければ、誰の人生も成り立たないのです。

私たちは一人ひとり、人生という舞台の主人公です。誰もが自分自身の人生を豊かなものにするために、日々精一杯生きています。辛いことや苦しいこともあります。努力も必要です。でも、いつも私のそばには、私が頑張れる環境を整えてくれた多くの人たちがいました。

はかり知れないお蔭を頂いて、今ここに生かされている。そのことに気づかされる時、自他のいのちがともにかげがえのないものであることを知り、ともに生きるあらゆるいのちの輝きを感じることができるとおもいます。私たちの胸にはすでに、世界にひとつしかない自分色のメダルが輝いています。

中学・高校体育大会



今年度の体育大会は、コロナウイルス感染拡大防止のため、中学、高校を分けて、中学は6月9日に、高校は7月2日に開催しました。

競技についても、感染対策を考慮した非接触型の競技に一新し、競技中には、ハチマキではなく、全員が各色の軍手をつけるなど、たくさんの方の感染対策と熱中症対策をしながらの開催となりました。



体育大会を振り返って

高校生徒会長 宮下 華琳

当日は雨が予想されており、天気心配でしたが、無事に終えることが出来ました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年通りに行うことが困難でした。しかし、何とか行事を行いたい、体育大会を行い、学生時代の良い思い出作りをしたいという強い意思を持ち、企画していきました。密にならず、さらに生徒が楽しめる競技を決定するなど、様々な感染予防対策を先生方と協力して行ってきました。このように制約がある中でも、最大限に楽しめるように、長い時間をかけて話し合い、何度も試行錯誤を繰り返しました。そして当日では新しい競技を全力で楽しみ、学年が一致団結して戦う姿を見ることが出来ました。体育大会を通して学年の絆がさらに深まったような気がします。これらは生徒、先生方の協力があったからこそ成功だと思えます。本当にありがとうございます。

中学生徒会長 武田 紗季

当日は雲ひとつない晴天で、熱中症対策をしながら、無事に体育大会を終えることができました。今回の体育大会では、合同体育や放課後練習を実施しない中、当日は先輩、後輩関係なく、生徒みんな協力し合うことができました。

私が嬉しかったことは、体育大会が終わった後に、生徒から、「体育大会では、いろんな先輩と仲良くなれるんだ。」という声があったことです。コロナ禍の中での体育大会の開催で、少しでも印象に残ってくれたらと思っていたので、とても嬉しい一言でした。私たちのために、協力してくださった生徒のみなさん、先生方、ありがとうございます。来年は、今の二年生が主体となって、この素晴らしい伝統を受け継ぎ、最高の体育大会を創ってくれることを楽しみにしています。



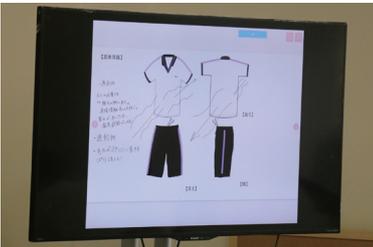
敬愛の教育 取り組み紹介

敬愛の中学・高等学校では、将来の目標に向かって努力できる生徒の育成を目指して教育活動を行っています。今回は、その特色ある教育活動の一部をご紹介します。

高校1年

家庭基礎の時間

高校1年生の家庭基礎の授業では「未来の体操服デザインプロジェクト〜2030年の未来を見据えた体操服づくり〜」というテーマで、5月下旬から体操服のデザインを考えてきました。菅公学生服さんに協力していただき、未来の後輩たちのために良い体操服を作ろうと、グループに分かれて活動を行いました。菅公学生服の担当者には、各クラス4回ずつ講義していただき、体操服の歴史について、デザイン思考とは何か、SDGsとのつながりなどを教えていただくことで、体操服を様々な視点から考えることができました。講義を聞いて、どのグループも見た目だけでなく、着心地や機能性、地球環境なども考慮してオリジナリティあふれるデザインを考えることができました。



高校1年

総合的な探究の時間

高校1年生の総合的な探究の時間ではSDGs地域企業連携プロジェクトと題した探究活動を行っています。

7月9日の5・6時間目には、プロジェクトの一環として、「なぜSDGsが世界に必要なのか」「SDGsがあることによつてどのような変化や可能性があるのか」をカードゲームを通して学びました。カードゲームの後は、ゲームの体験と現実の世界を紐付けながら振り返ることによつて、さまざまな気づきが生徒たちにあつたようです。今回の学びをそれぞれの今後の探究活動に生かしていきたいと思えます。



手あらいダンス



RKB毎日放送の「まちプリ 手あらいダンス」のコーナーで敬愛生による手あらいダンスが放送されました。手あらいダンスとは、「シャボン玉石けん」と「RKB毎日放送」が協力し、「手あらいのうた」を正しく、楽しく覚えられるようにと、振付をしたものです。敬愛でも、この企画を応援したいと考え、今回参加をしました。インターアクトクラブ、吹奏楽部をはじめ、様々な部活が手あらいダンスに参加しました。休み時間などにも、歌を口ずさんだり、ダンスを踊ったりなどの生徒の姿も見られました。



まちプリ
手あらいダンス
(6月14日放送分)



Athletic WEEK 開催

本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、運動会が中止となりました。しかし、これまでの練習の成果を発表できないかと、体育の授業中に「走」と「競遊」を学年ごとに行い、赤・白組で総合点を競い合うAthletic WEEKを企画しました。

オンラインを活用した開会式では、教室と礼拝堂をZOOMをつないで、体育委員会からのルール説明を行い、応援団員全員がこのAthletic WEEKへの意気込みを発表してくれました。

Athletic WEEKは5月24日(月)に開幕し、29日(土)まで1週間のスケジュールで行いました。その日の競技の結果は、お昼の放送で発表し、夕方にはYoutubeにて編集データを限定公開。「白組にもう少しで追いつくよ」と毎日ワクワクしながら取り組んでくれたようです。



できる」ということを今回の学校行事を通して感じてくれたのではないのでしょうか。思い出に残る学校行事になりました。

保護者の感想の一部をご紹介します。

★子ども達がみな緊張感を持って真剣にやっている姿を見て、この状況下でもできることを最大限にやっていることに感心しました。2年連続で運動会が見られないことがとても残念ですが、保護者にとつても心に残る思い出を作ってくれ、ありがとうございます。また子ども達全員の姿がよく見えるようにたくさんカメラを設置したり、動き回って子ども達を撮影して下さいました先生方のご尽力にも感謝します。

★先生方には、感謝しかありません。子どもの学年以外も拝見し、自分の子の運動会と重なり、この状況の中で子ども達が一生懸命な姿と撮影されている先生方の後ろ姿を見て、涙が止まりませんでした。我が子の学年のときは、頑張っている姿に笑顔になっていました。子どもは「開始前はとっても緊張していたよ」「少し間違っただけで楽しかった!」と、とても満足そうに話してくれました。親子共々、忘れられない1日になりました。



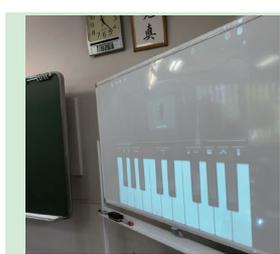
オープンスクール開催

6月12日(土)のオープンスクールは緊急事態宣言発出中ということを鑑み、オンラインで開催しました。コロナ禍の臨時休校中も毎日オンライン授業を行ってきた本校ならではのイベントになりました。

7月3日(土)のオープンスクールは3つの密を避けた新しいカタチにて、来校型で実施しました。昨年度を上回る参加があり、一教室あたりの参加人数を少なくするために、本校の先生が13のオリジナル講座を準備して、3つの体験授業に参加いただきました。ご参加の皆様、感染拡大防止のため様々なご協力を賜り、有難うございました。

特集 敬愛の教育 iPadを活用した音楽の授業

新型コロナウイルス感染予防の観点から、iPadのGarageBandを活用して音楽の授業を進めています。マスクを外して飛沫が飛ぶ恐れのある鍵盤ハーモニカの代替使用をスタートしましたが、打楽器や弦楽器の演奏もできることから、子どもたちの豊かな音楽活動に繋がっています。コード演奏の概念もスムーズに伝えることができ、ギターなどのコード進行や日本の伝統的な和楽器や世界の珍しい楽器の演奏も楽しんでいます。高学年になるとGarageBandを使った作曲にも挑戦します。ドラムスにこだわる児童や試行錯誤して色々な音を試してみる児童などそれぞれですが、これまで学習してきた内容を使いながら、オリジナルの楽曲が誕生します。子どもたちは様々な機能を自分たちで発見し、互いに共有しながら日々成長しています。「コロナだからできない!」ではなく「コロナだから気づけた。やってみよう!」という姿勢が素晴らしいです。



幼稚園通信

外遊び大好き

暑くても、寒くても、外遊びが大好きな子どもたち。梅雨も明け、暑い毎日ですが、汗をかきながらも外での活動を楽しんでいます。園庭の大きな日よけネットのおかげで、強い日差しを避け、戸ノ上山からの涼しい風が吹き込み、快適に外遊びができています。砂遊び、自転車、鉄棒、ブランコ、サッカー、虫探し、花あつめ：それぞれの遊びを大切にしながら、小さな気づき、経験を重ね、友達との関係を深めていく毎日です。



プール遊び

子どもたちが大好きな水遊び。今年度も密を避けながら、毎日のように楽しんでいきます。

新調したばかりのピカピカのプール。大きなクレーンで釣り上げながら完成していく様子に、子どもたちは興奮していました。出来上がった姿を眺め今かと思われ望んでいましたが、無事プール開きを終え、毎日、プールに入っています。初めは水を怖がっていた子どもも先生との水の掛け合いを楽しんでいます。中でだんだんと水に慣れ、水への苦手意識がある子はいなくなりました。水の楽しさを存分に体験しつつ、この時期の自然災害のことも踏まえ、水の怖さもしっかりと伝えていっています。汗びっしょりになりながら園庭で遊び、部屋での活動をし、水遊びでさっぱりとしてすがすがしい顔をして帰っていく園児たち。充実した毎日を過ごしながら、一步一步成長し続けています。



誕生会

毎月、誕生会を行っています。お家の方にも参加していただき、ステージでの発表を見ていただきます。大きくなったらなりたいたいものや、名前の由来等の紹介があり、一人ひとり大切な存在であることを感じながら、皆でお祝いをします。

お家の方と一緒にごちそうをいただき、幸せそうなお誕生児さんの一日です。



親子サークル

「たまごくらぶ」のご案内

未就園児対象の親子サークル、「たまごくらぶ」。緊急事態宣言下でしたので延期が続いておりましたが、やっと開催できるようになりました。親子で、またはおじいちゃんおばあちゃんも参加していただき、一緒に楽しい時間を過ごします。初回は幼稚園の遊具で遊んだり、七夕の製作を親子で楽しみ、願い事を書いたり、短い時間ではありますが、幼稚園の雰囲気を感じてもらっています。第2回目はお遊戯室でのレジャーシート遊びで盛り上がりました。

小さなお友だちとご縁に、私たちも幸せな時間を過ごしています。今後も楽しい内容を計画中です。1〜3歳の方の入会をお待ちいたしております。



「子を育む」



「家裁の人」というコミックをご存知でしょうか。家庭裁判所（家裁）の裁判官・桑田義雄が少年審判、家事審判を解決していく話を中心に人間の心情を描く物語です。この桑田

義雄は花や草木といった植物が大好きで、人を「裁」くのではなく植物を「裁」培するように丁寧に手をかけ、また温かく見守るところから「家裁」ではなく「家裁」という表記になっています。

日本人というのは桜が大好きですね。特に花が満開に咲いている桜を好みます。ただ、中には散ったあとと地面で腐った汚い花びらを見ているとあの美しさが仮の姿のようであまり好きではないという方もいると聞

きます。しかし、桑田裁判官はこう言います。「地面に落ちた花びらはただ腐っているわけではありませんですよ。あの花びらを土の中の何億という微生物が待っているんです。花びらを食べて彼らは生きています。そして微生物達が排泄したり、死んで土に混じったりすることで土が豊かになる。その土から栄養をとるので、桜の木は次の年にまた花を咲かせるんです。人間には見えないから気づかないだけです。花はきれいで、あとは汚いなんて区別するのはナンセンスですよ。全部があるから生きているんです。」

私も含めて親というのは我が子の良い部分だけ認めようとしていませんか。しかし、親から見ると良い部分も悪い部分も全部がその子の個性であり、「命」そのものなのでしょう。子供は家庭の飾り物ではありません。親の美意識にあてはめられて生きていく義務はどこにもありません。親の役目は育てることではなく、育つのをそばで見守っていくこと。あるじリーグの監督が数人の一流選手に子供時代の環境を聞いたそうで

す。するとほとんどの選手が自分の親がずっと付きつきりだったか、もしくははまったく関与してなかったかのどちらかだったそうです。要するに中途半端に気が向いたときだけ口を出すというのが一番良くないことかも知れません。何だか耳が痛いですね。子供が成長するための環境を整え、用意することこそが最も大切なことです。そして、子供はそうしてくれた親に感謝するというのが良い親子関係なのでしょう。

浄土真宗のご本尊阿弥陀如来さまは、昔から「親さま」と親しみを込めて呼ばれてきました。私のことを「いつでも、どこでも」付きっ切りで見守って下さる「人生の親」ということなのでしょう。どのようなことがあってもあなたの命は私が必ず引き受けるから、安心して生きていきなさいと願い、はたらいてくださるのが阿弥陀如来という仏さまです。

子供が自分の命を輝かせながら安心して生きていけるように、大きな親になりたいですね。

注目の生徒コーナー

敬愛高等学校 新生徒会長

挨拶



江平 陽香
(敬愛中出身)

本年度、生徒会長を務めさせていただき、江平陽香です。私は昨年度から生徒会執行部の一員として活動し、たくさんのお話を学んできました。その活動の中で、先輩方が「全校生徒のためにより良い学校を作っていこう」という目標のために努力している姿勢をそばで見ました。昨年度は、長年の間生徒会執行部の先輩方が頑張ってきた、自動販売機の導入とスマホの持ち込みが可能となりました。これまでこの問題に携わった多くの方の努力の結晶がこのような結果を生んでくれたのだと思っております。そんな先輩、先生方の生徒や学校を思う姿はとても尊敬でき、先輩方の努力を繋げていくためにも、その意志を私も持ち続けていきたいと思えました。コロナ禍という大変な中ではありますが、行事や日々の学校生活を、より生徒が充実し、楽しく、笑顔で、過ごしやすい環境の整った学校にしていきたいと思えます。そのためにも、生徒一人一人の意見に耳を傾け、生徒会執行部を中心とした生徒全員でこの学校を向上させていきたいと思えます。皆さんが生徒会執行部8名に任せてくださったことへの感謝と、その責任を胸に刻んだまま日々積極的に行動し、努力していきたいと思えます。また、これまでの先輩方のようにこれからの後輩のためにもなる良いものを残していきたいと思えます。最後になりますが、生徒の皆さん、先生方、今年度も生徒会活動へのご協力お願いします。



在校生の皆さん、はじめまして。私は高校を卒業後、福岡大学経済学部に進学しました。大学卒業後、不動産会社に5年、銀行に5年、会社員として通算10年勤務しました。その後小さな会社を設立し、様々な事業を行っています。今回はその中の2つの仕事を紹介します。

皆さんの中にも本が好きな方は、『シェア本棚』や『レンタル本棚』等と呼ばれるサービスを聞いたことがあるかもしれません。私もそのサービスを運営しています。『誰でも本屋になれる』ことがこのサービスの魅力です。店の名前は「BookR」といいます。古本屋の本棚の1区画を借りてそこに自分が読み終わった本など並べ販売（出店）する形式です。それぞれ自分の好きな書店名を決めて、本棚1区画だけの小さい本屋さんをもらっています。本が好きな、年代・職業バラバラの色んな方が出店、自分の本屋を楽しんでいます。

もう一つは「コクラスタディー」

というオンライン学習サービスです。コロナ禍の2020年5月にサービスを開始しました。小学生8名でスタート。決まった時間に一斉に自習をするコースが好評で、この約1年半、ほとんど毎日開催しています。その中で1人、今年中学1年生になった生徒の家庭教師もすることになりました。今後、中学生、高校生のオンライン自習室も始める予定です。勉強は『いかに自分が集中して自習を頑張れる環境を作るか』が肝心だと考えています。

時代は悪くない。これからはチャンスに溢れた希望の時代

私はいわゆる就職氷河期世代で、社会人になってからも基本的にずっと社会全体としては不況です。幼少期に少しバブリーな印象の記憶があるくらいです。皆さんはもしかしたら、生まれてからずっと不況なのかもしれません。

では、未来に希望はないのかという私はそうは思いません。チャンスの多い時代と捉えることもできます。仕事の起源は「困っている人の問題を解決すること」です。今、困っている人はたくさんいます。そして、

今まさに時代の大変革期、特にこのコロナ禍では働き方含め色々なことが大きく変化しています。社会の変化の時期は新しい挑戦が成功しやすいチャンスです。

将来または今すぐでも、やりたいことがある人はどんどんそれに挑戦してほしいです。逆に、私も当時そうでしたが、将来特にやりたいことがない人も多いと思いますが、それは全く問題ありません。とりあえず何でも良いので目先のことを頑張ってください。やりたいことが見つかる、「いざという時」まで「頑張ったという経験」をとにかく多く積んでください。「いざという時に頑張ることができる」というのは最大級の立派な能力です。このあたりを詳しく聞きたい人は「コクラスタディー」に参加してください。

皆さんの高校生活が実りあるものとなりますように。人生において楽しい思い出となりますように。



全国大会出場おめでとう

柔道部

第66回福岡県中学校柔道大会に出場。全国大会への出場が決まりました。

(結果)

女子団体戦	1位
52 kg級	1位 中学3年 大塚 翔稀 (大善寺小出身)
57 kg級	1位 中学3年 本田 里来 (香椎小出身)
63 kg級	1位 中学3年 緒方 愛花 (名島小出身)
70 kg級	1位 中学3年 福嶋 勇風 (小宅小出身)
70 kg超級	1位 中学2年 山口 千弘 (宮内小出身)

令和3年度福岡県高等学校総合体育大会柔道選手権大会に出場。全国大会への出場が決まりました。

(結果)

女子団体戦	1位
女子個人戦	
52 kg級	1位 高校2年 岡元 優樹 (財部中出身)
63 kg級	1位 高校3年 高木 水月 (敬愛中出身)
70 kg級	1位 高校3年 中本 真奈美 (箕島中出身)
78 kg級	1位 高校1年 滝本 稟夏 (箕島中出身)
78 kg超級	1位 高校1年 永里 紗楽 (敬愛中出身)

陸上

第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北部九州ブロック予選会に出場。全国大会への出場が決まりました。

(結果)

男子100m	3位
男子200m	4位
高校3年 先本 貴一朗 (日新館中出身)	

頑張る受験生を応援します

オープンスクール開催!!

敬愛小学校



敬愛小学校

8/21 敬愛模試・入試説明会 9:00 受付 / 9:30 開始 / 11:15 終了予定
敬愛の先生が作成する模試問題にチャレンジ! 保護者対象の入試説明会も同時開催いたします。 対象: 年長児・保護者 会場: 敬愛小学校

事前受付: 8/18 までに、WEB にてお申し込み下さい。

9/22 授業見学・学校説明会 10:00 受付 / 10:20 開始 / 12:20 終了予定

事前受付: 前日までに、WEB にてお申し込み下さい。

敬愛中学校



敬愛中学校

10/3 敬愛模試・入試説明会

敬愛の先生が作成する模試問題(国語・算数)にチャレンジ! 保護者対象の入試説明会、そして本校特任講師 的場亮による特別講演会も同時開催いたします。

事前受付: 9/19 ~ 9/26 の期間に、WEB にてお申し込み下さい。

敬愛高等学校



敬愛高等学校

8/29 敬愛模試

敬愛の先生が作成した模試問題を受験料無料で受験可能です。実力が問われやすい英語・数学の2教科模試です。

事前受付: 8/25 までに、WEB にてお申し込み下さい。

9/25 ICT 授業見学・学校説明会

ICTを活用した授業見学とICT体験もできるオープンスクールです。敬愛の学力アップの秘訣が分かる学校説明も実施します。

東京オリンピック 柔道女子 57kg 級 銅メダル!! おめでとう!!

東京オリンピックでの戦績

2回戦

盧童娟(中国)に
背負い投げで一本勝ち

準決勝

ノラ・ジャコバ(コソボ)に
小外掛け技ありで負け

準々決勝

ティムナ・ネリソソルビー(イスラエル)に
袖釣り込み腰技ありで優勢勝ち

3位決定戦

エテリ・リパルテリアニ(ジョージア)に
内股の合わせ技で一本勝ち

芳田司選手からのメッセージ

学生時代を振り返ると、毎日稽古に明け暮れた日々でした。稽古中の厳しい練習が記憶の大半ですが、その中でも学生生活として残っているのは、仏教の授業です。特に、「ご縁」というテーマの授業が心に残っています。仏教の考え方は、とてもポジティブな気持ちになれてとても好きでした。

柔道という競技に関わるアスリートとして、感謝の気持ちや人と人のつながりというのは、本当に大事なことで、全ては「ご縁」である、繋がっているというあの授業で学んだことは、今も深く心に残っています。



平成25年度卒業生

芳田 司 選手